



声が出なくてもコミュニケーションはできる！

ICT（情報通信技術）を活用した コミュニケーションについて

医療的ケア児を支える現場では、医療・教育・福祉など、さまざまな職種が関わり合いながら、本人・家族の日々のケアを紡いでいます。しかし、本人との情報共有や意思疎通に悩み、本来の意思決定支援につながっているのか悩む場面も少なくありません。

そこで、一つの方法として、ICTを活用してみませんか？本研修会では、子どもたちの意思決定支援を支える手段としてICTの活用を学び、子どもたちの「安心」と「笑顔」を支えるコミュニケーション手法の可能性を探ります。

講師紹介

高橋 宜盟（たかはし よしあき）氏

東京慈恵会医科大学 ASC・アクセシビリティサポートセンター
アクセシビリティ・コーディネーター一般社団法人
結ライフコミュニケーション研究所 代表理事・研究員
有限会社 オフィス結アジア 代表取締役

社会福祉士 上原靖子氏

川崎市南部リハビリテーションセンター 南部在宅支援室 室長

作業療法士 藤田真樹氏

川崎市南部リハビリテーションセンター 南部在宅支援室

アクセシビリティって？
機械ではなくて、
機会なんです

リハビリテーション医学会
在宅医療連合学会など
多くの学会で講演されています。
聞き逃した方、朗報です！

日時：2025年12月13日（土） 14時より16時

場所：教育文化会館 第6会議室

定員：40名（定員に達した時点でGoogleフォームでのお申し込みを終了します）

会費：500円（資料代）

申し込み方法：右のアドレスまたはQRコードで12月6日（土）までに
お申し込みください

ご質問は⇒川崎大師訪問看護ステーション 島田
TEL 044-266-2180

<https://forms.gle/GvRYUGGk5UWHi2A88>



スペシャルニーズのある子どもたちの未来を考える会 TOUCH

TOUCHはTreat Observe Understand Children with special Hopeの頭文字を取りました。

私たちは、どのような重度の障害を持っていても本人も家族も幸せに生活していける川崎区
（川崎南部地区）作りを目指し、医療と福祉の連携を強化する活動をしている団体です